

留 学 報 告 書

記入日:2020年7月23日

所属学部／研究科・学科／専攻	国際日本学部
留学先国	台湾
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文: 国立台湾大学 現地言語: 國立臺灣大學
留学期間	2019年9月～2020年6月
留学した時の学年	2年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	1年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	社会科学部政治学科 <input type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	2020年6月27日
明治大学卒業予定年	2022年3月
留学先大学について	
形態	<input checked="" type="checkbox"/> 国立 <input type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年暦	1学期:9月上旬～1月中旬 2学期:2月中旬～6月中旬 3学期: 4学期: (記入例/1学期:4月上旬～7月下旬, 2学期:9月中旬～2月上旬)
学生数	約3万人
創立年	1928年

留学費用項目	現地通貨 (NTD)	円	備考
授業料	0	0円	0
宿舍費	74000	259000円	シングルルーム月7400NTD
食費	114285	400000円	
図書費	3500	12250円	主に中国語の教科書代
学用品費	500	1750円	授業のために買ったヨガブロックと運動着
携帯・インターネット費	4400	15400円	寮で買った12か月用SIM3600NTD 学校に支払ったインターネット代800NTD
現地交通費	20000	70000円	MRT、台鉄、uber など(<input checked="" type="checkbox"/> 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費	3000	10000円	書籍
被服費	23000	80000円	
医療費	0	0円	海外旅行保険ですべてタダ
保険費	44034	154120円	形態:海外旅行保険
渡航旅費		12000円	JALマイルとの併用
ビザ申請費	1971	6900円	
雑費	28571	100000円	日用品などの購入
その他	136737	478580円	旅行費、娯楽費など
その他		円	
合計	約430000	1500000円	レートは1NTD=3.5円で計算しました

渡航関連

渡航経路

往路 出発地:成田 目的地:桃園 経由地:
復路 出発地:桃園 目的地:成田 経由地:

渡航費用

①往復チケットを購入した場合

航空会社: _____

料金: _____

②片道ずつチケットを購入した場合

往路 航空会社:JAL 料金:約 6000 円(マイルを利用)

復路 航空会社:JAL 料金:約 6000 円(マイルを利用) ∴合計:約 12000 円

航空券購入方法

旅行代理店(店名: _____) インターネット(サイト名:JAL 公式サイト) その他(_____)

滞在形態関連

1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート, 大学の宿舎など)

学生寮(寮の名前:Prince House ShuiYuan Dorm) アパート ホームステイ

2)部屋の形態

個室 相部屋(同居人数 _____)

3)共有部分

バス トイレ キッチン(自炊可 自炊不可)

4)住居を探した方法:

国立台湾大学から学生寮の案内が来ました

5)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

私は寮でたくさんの友達に出会えたので楽しみにしてください。寮では虫が割と出ました。

現地情報

1)留学期間中、病気やケガをされましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。(例:現地の病院, 学内の診療所)

なし

あり(治療を受けた場所: 輝雄診所で胃腸内科の受診、陳詩明医師診所で皮膚科の受診)

2)留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。

(例:留学先大学の相談窓口, 現地の友人等)

なし

あり(問題の内容や相談した人等: _____)

3)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか?その際どのように対処しましたか?

台湾でのコロナに関する情報は留学先大学の留学担当者からのメールや、日本台湾交流協会からのメール(在留届を出した時、またはビザを申請した時に勝手に自分メールアドレスが登録されていた?)から得ていました。

4)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

寮で買った SIM がインターネット無制限だったのでスマホでネットを使う分には問題はありませんでした。しかし寮や学校でパソコンを学校の wifi を使ってネットにつなげると、接続が悪いことがほとんどでした。ケータイからホットスポットを使ってパソコンをネット接続することもできますが、それもネットが遅いです。なのでカフェに行ったり、ルーターを買ったりして工夫していました。

5)現地での資金調達はどうに行いましたか?

現金を持って行き、現地で開設した銀行口座に預けていました。銀行口座は ARC を持っていれば(6 か月以上台湾に滞在する外国人に付与される)誰でも開設することができます。現金が足りなくなったときは日本の親から開設した銀行口座に送金してもらったこともありましたが、費用もかかり時間もかかったため、キャッシュパスポートへの送金に変えました。キャッシュパスポートは日本からすぐに振り込みができ、現地で現金をおろせるためとても重宝しました。現金がなくなりそうになった時はなるべくクレジットカードを使うようにしていましたが、台湾でクレジットカードが使えるところは少ないです。これから台湾に留学される方はクレジットカード、デビットカード、キャッシュパスポートを持っていけば安心だと思います。現地で銀行口座を開設すると何かと便利なのでお勧めします。

6)現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えてください。

日本のものはほとんど何でも手に入りますが、強いて言うなら自分が飲みなれている風邪薬だと思います。

7)【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。

授業料はかかりませんでした。学校に支払ったインターネット代 800NTD(各学期 400NTD ずつ)は現地のコンビニで現金支払いしました。

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

1)留学先で取得した単位数合計		本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
24 単位	<input checked="" type="checkbox"/> 単位	<input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2)履修登録の時期・方法及び履修制限		
<input checked="" type="checkbox"/> 出発前 <input checked="" type="checkbox"/> 出発後 <input type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input checked="" type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他() ・履修の制限はありましたか？ 各学期 25 単位までだったと思います。授業によっては学部生のみしか受け付けないものもあつたり、学部生を優先して受け付けるものもあつたりしました。NTU にはどんな授業があるのかよく調べてから、どの学部にも所属するのかを決めたほうが現地で自分を取りたい授業が取れると思います。		
3)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。		
履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):
国際生華語		留学生向け一般中国語
科目設置学部・研究科	留学生対象とした授業	
履修期間	1 年間	
単位数	6	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 150 分が2回	
担当教授	葉千菁	
授業内容	中国語の文法を学びます。	
試験・課題など	各学期中間試験、期末試験がありました。 課題はワークブックや先生からのプリントを解くものが多かったです。 ほぼ毎回単語テストがありました。 単元ごとに単元テストもありました。	
感想を自由記入	台湾人の先生が中国語と英語を使って文法を説明してくれます。教科書は NTU から販売されているものを使います。クラスはレベルごとに分かれていて、学期の初めのテストの結果によってレベル分けされます。クラスの人と仲良くなりやすく楽しいです。でも結構宿題が多く苦戦しました。また中国語ネイティブである先生の説明はわかりやすいものとは言えませんでした。外国人である学生の疑問を先生がたまに理解していないように感じました。ただ、週に 2 回あるので中国語学習のモチベーションを保ついい機会になると思います。	

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):
国際生実用華語		留学生向け実用中国語
科目設置学部・研究科	留学生を対象とした授業	
履修期間	1 年間	
単位数	2	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 120 分が2回	
担当教授	蔡孟芳、 吳艾芸	
授業内容	実践的な場面で使える中国語会話を練習します。	
試験・課題など	上記の留学生向け一般中国語と同じです。	
感想を自由記入	私はこの授業が大好きでした。なぜなら、この授業で習う中国語はすべて実生活でそのまま使えるようなものばかりだったからです。例えばセールのときの洋服の買い方や、レストランでの頼み方など先生が小話を織り交ぜながら教えてくれました。ただ朝 8 時からあり、宿題が多く、授業の進むペースも早く体力的にきつかったです。でも本当にためになるので、受けることを強くおすすめします！	

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Political Culture and Economic Development in East Asia		東アジアの政治文化と経済発展	
科目設置学部・研究科	社会学部政治学科		
履修期間	半年間		
単位数	2		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に120分が1回		
担当教授	比屋根亮太		
授業内容	歴史的出来事から東アジアの政治や経済を学びます。		
試験・課題など	グループプレゼンテーションが2回、レポート課題が2回ありました。		
感想を自由記入	この授業は学生がグループに分かれ、割り振られたリーディングに基づいてプレゼンをします。リーディングが本当に難しく大変でしたが、グループの英語ネイティブの子たちがすごく頑張ってくれたのでプレゼンは大丈夫でした。この授業は教授はほほなにもしないので、リーディングから学生たちが自分たちで学んでいくという感じです。東アジアの歴史や政治経済についての基礎的な知識が頭に入っていたら学べるものが大きいと思います。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Exploring Taiwan: natural environment and resources		探索台湾: 自然環境と資源	
科目設置学部・研究科	主に留学生を対象とした授業		
履修期間	半年間		
単位数	2		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に120分が1回		
担当教授	袁孝維		
授業内容	台湾の自然や資源について広く学べる授業です。		
試験・課題など	グループでのプレゼンテーションが1回あり、4択問題の期末テストがありました。		
感想を自由記入	この授業は毎回異なる分野の専門家が講義をしに来てくれます。台湾の自然や文化について広く学ぶことができ、とても楽しいです。グループプレゼンテーションもそこまで難しいものではなく、友達もつくりやすいので強くお勧めします！また動物園に行ったり、キャンパス内にある植物や動物の標本を保存するところに行ったりすることができます。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Exploring Taiwan: Film and Social Culture in Taiwan		探索台湾: 映画で学ぶ台湾の社会文化	
科目設置学部・研究科	主に留学生を対象とした授業		
履修期間	半年間		
単位数	2		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に120分が1回		
担当教授	郭任峯		
授業内容	台湾の映画から台湾の歴史と文化について学びます。		
試験・課題など	中間レポート、期末レポートがありました。		
感想を自由記入	私はこの教授が大好きでした！この教授の英語はとても分かりやすく、台湾について広く学ぶことができます。ただレポート課題のために読むリーディング課題は結構長く難しく苦戦しました。でも中間期末以外は特に課題もなく、授業は座って聞くだけなので取りやすい授業だと思います。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Introduction to East Asian Studies		東アジア学入門	
科目設置学部・研究科	社会科学部		
履修期間	半年間		
単位数	2		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	オンラインでのリアルタイム講義形式(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に120分が1回		
担当教授	周嘉辰		
授業内容	東アジアの政治経済を基礎的な事柄から学びます。		
試験・課題など	毎週のリーディングを読む課題、グループプレゼンが1度、中間レポート、期末レポートがありました。		
感想を自由記入	この授業は東アジアの政治経済について基礎的な内容から発展的な内容までやさしく教えてくれます。教授が提供してくれたリーディング課題はどれも勉強になるものばかりでした。しかしやはりリーディング課題の英語が難しく、中間期末レポートを書くときはかなりの時間を割く必要がありました。ただ、日本においてはあまり学ぶことのないような、中国台湾香港の関係などを学ぶことができたので、東アジアの政治経済について台湾の視点から学びたい人にはとてもおすすめです。クラスの人数も多すぎず、学生のペースに合わせて教授が授業を進めてくれます。またたまに外部の専門家が講義をしに来てくれるのでとても貴重な経験だったと思います。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Exploring Taiwan: Women and Taiwanese Society		探索台湾: 女性と台湾社会	
科目設置学部・研究科	主に留学生を対象とした授業		
履修期間	半年間		
単位数	2		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	オンラインでの講義形式(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に120分が2回		
担当教授	郭任峯		
授業内容	台湾の女性の社会的地位の変遷について学びます。		
試験・課題など	グループディスカッションからのレポート提出が2回、中間レポート、期末レポートがありました。		
感想を自由記入	アジアの中で最もリベラルとも言える台湾の女性の社会的地位の変遷や、LGBT についてなど、幅広く学ぶことができる授業です。台湾と日本の女性の歴史には共通するものが多くあり、授業を受けていて学んでいる感じがして楽しかったです。課題も大変ではなかったので取りやすい授業だと思います。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Canadian Literature: Short Fiction		カナダ文学: ショートストーリー	
科目設置学部・研究科	外国語学部		
履修期間	半年		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に180分が1回		
担当教授	傅友祥		
授業内容	カナダ文学を通してカナダの歴史や、人間とは何か学ぶ授業です。		
試験・課題など	毎回カナダのショートストーリーを読む課題、作品から学んだことをレポートにまとめる課題、グループプレゼンテーションがありました。		
感想を自由記入	この授業は私が受けた中で一番大変だったと思っています。なぜなら私は文学について基礎知識がなく、また古い英語で書かれた作品を理解するのがとても難しかったからです。ただ、自分で理解できなくても毎回の授業でほかのグループがわかりやすく解説してくれるので問題はないです。この授業では毎回発言を求められます。教授の英語はとても分かりやすいのですが、たまにすごく難しい質問をされることもあり、私は結構的外れな回答をしていたと思いますが、自分の考えを発信するという度胸はついたと思います。またこの授業を受けている多くの学生は外国語学部の台湾人の子で、みんな英語がすごく上手で文学について深く知っています。グループプレゼンテーションの時は NTU の学生ってやっぱり頭いいなと痛感しました。すごく大変でしたが、自分的に一番成長を感じることのできる授業だったと思います。多民族国家であるカナダの文学を通して、人種やアイデンティティなど全人類に共通する大切なことを学ぶことができました。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
The Science of Joyful Living		楽しい人生のための科学	
科目設置学部・研究科			
履修期間	半年間		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に180分が1回		
担当教授	戴可馨		
授業内容	科学の観点から楽しく生きる方法を学ぶ授業です。		
試験・課題など	毎回記事や動画をみて学んだことや感想をレポートにまとめる課題、人生を楽しく、幸せにするためのアクティビティなどがありました。		
感想を自由記入	この授業は私の人生を大きく変えてくれました。この授業ではソーシャルワーカーとして活躍される教授が幸せで楽しい人生とは何か科学的な観点から教えてくれました。失敗を自分の成長の過程ととらえるマインドセットを学んだり、自分がいかに恵まれているか気づいたり、自分の人生のとらえ方次第でこんなにも毎日を楽しむものにすることができるのかと思いました。この授業では自分の人生を見つめなおし、みんなが自分のことをさげ出します。私のほかにも、たくさんの学生がこの授業で人生が変わったと言っていました。NTUに留学してまだ開講されていたら、絶対に取ってください！		

卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください(下記 2 以降は記入不要)

就職 進学 未定 その他:

2) 進路決定の際に活用したウェブサイト, 書籍, 機関など

3) 就職を選択した方は, 差し支えなければ内定先を教えてください。また, その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前, あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません)

※就職活動をこれから始める場合は, 差し支えなければ現時点で希望する業界, 職種等を教えてください。

4) 就職活動中・終了に関わらず, 就職活動について感想・アドバイスをお願いします。

(例: 留学中の就職活動へ向けた準備, 帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い, 留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。)

※就職活動をこれから始める場合は, 留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。

5) 進学を選択した方は, 差し支えなければ進学先を教えてください。

6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備, 試験対策等)をお願いします。

7) その他を選択した方は, その進路を選択した理由と, 留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。



留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備, 試験勉強, 留学中, 留学後, 特に留学に関連して発生した事項を記入してください。例: 語学試験の勉強, 選考, 出願, ビザ申請・取得, 航空券購入, 予防接種, 滞在先の確保, 留学中の中間試験, 期末試験, その他イベント等

2018年 1月～3月	大学受験を終える
4月～7月	大学に入学し、留学についての情報収集を開始する 大学で開催された留学フェスタ参加し、台湾留学について考え始める
8月～9月	カナダに CIEE プログラムで滞在し、英語をもっと伸ばしたいと本気で思い始める
10月～12月	協定校一覧の中からどの国、学校に行きたいのか真剣に考え始める NTU に決めてからは応募の準備を開始
2019年 1月～3月	TOEFL や HSK を受け、英語と中国語の勉強を本格的に開始
4月～7月	GPA を下げないように授業を頑張る日々
8月～9月	夏休みから中国語を毎日勉強するようになる
10月～12月	英語の伸びを感じる喜ぶと同時に、中国語が思ったように伸びず悩む日々
2020年 1月～3月	休暇期間に旅行 留学開始から半年が経過したあたりから中国語の伸びを感じ始め嬉しい日々
4月～7月	学びも遊びも全力で頑張った日々 6月末に帰国
8月～9月	中国語検定や英検の勉強 就活の開始
10月～12月	中国語検定や英検の受験予定

留学体験記

この留学先を選んだ理由、留学生生活全般について、留学を志す後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。

私は NTU (国立台湾大学) への留学を全力でおすすめします。大きな理由は3つあります。1 つ目は NTU では世界中の様々な国から来たたくさんの人に出会えるからです。総学生数約3万人のうち5千人が留学生の NTU はとても国際色豊かです。アジアやヨーロッパ、アメリカなど本当に世界の様々な地域から多くの学生が留学に来ます。特に寮では多くの友人ができます。留学生同士では英語が共通語となるので英語を伸ばしながら、多様な価値観を学ぶことができます。台湾で学ぶ外国人として共通点が多いため、どの国の人とも友達になりやすい、とても恵まれた環境だと感じました。

2 つ目は現地の人がすごく優しいからです。台湾人は他人にとっても優しいです。特に外国人に対して興味のある人が多く、困っていたら必ず助けてくれます。どんなに片言な中国を話しても、一生懸命聞いてくれる人が多いので、中国語を学びたい人にとっても最高の環境だと思います。

3 つ目は台湾がとても住みやすいからです。台湾は全体的に日本に似ているので、外国に住んで！！という感じはあまりないかもしれませんが、その分自分のやりたいことに集中しやすい環境だと思います。治安はよく、交通も便利なため、勉強も遊びも楽しめて、自分を成長させてくれるとてもいい環境です。

この留学では語学力も伸びたと感じますが、それよりも、人として大きく成長できたと思います。異文化に囲まれながら外国語を話し、異なる背景をもつ新しい友人たちと過ごした約10か月間、悲しく寂しくつらいこともたくさんありました。でもそれを乗り越えたからこそ成長でき、たくさんの楽しい経験もすることができました。留学中に仲良くなった友人は一生の宝物です。

明治大学の友人や事務室の方々、家族など、たくさんの人々が支えてくれたおかげで、留学を無事終えることができました。留学を通して私はたくさんの素晴らしい人に、どれだけ恵まれているか気づきました。留学中辛すぎることがあった時は、明治大学の友人と電話をして元気をもらいました。コロナが発生したときは、多くの大学が留学生に帰国を強いていた中で、明治大学は留学の継続を認めてくれました。留学中の様々な経験を通して自分に自信が付き、自分のことを好きになれて、本当にポジティブになりました。これからの人生でたくさんの困難に直面すると思いますが、もう何も怖くなくなりました。留学は人生を変えてくれるきっかけになるとと思います。留学を考え始めたときから留学は始まっています。応援しています！

